



2023年  
9月8日  
№6

# 貨物労連情報

日本貨物鉄道労働組合連合会  
発行人:高木康之  
編集人:辻井寛明

## 伯備線・王子製紙 紙輸送問題で 伯耆大山駅を視察

JR貨物労連は9月7日に、米子市内にて第2回関係者会議を開催しました。貨物労連事務局と山陽ロジ労組、JR貨物労組本部、JR貨物労組関西地本と岡山支部を合わせて15名が参加しました。また、来賓としてJR総連より小林政策・政治部長にお越しいただきました。

まず始めに、王子製紙専用線のある伯耆大山駅を訪問し、専用線から搬出されるコンテナ車の入換作業の現地視察を行ない、西日本ロジ米子営業所の新開所長より説明を受けました。視察の後、関係者会議を行ない、第1回関係者会議以降の貨物会社と王子製紙の状況や、自治体との関係、また、JR総連議員懇談会所属の国会議員を通じた国交省鉄道局への要請の報告を行ない、現状認識の一致をはかりました。

王子製紙米子工場内でエタノール製造を始めるとい報道がされており、どのような手段で輸送するのか課題となっています。伯備線存続問題は、岡山夕駅や岡山機関区で働く仲間の問題でもあります。JR貨物労連は、現地で働く組合員のために、雇用と生活を守る取り組みを続けていきます。



↑ 軸重測定センサー

検知装置ランプ →



↑ 徐行しながら引上げ測定する